

総括討論

◎鈴木 哲史 代議員 (葛巻)

多忙化の解消と労働安全衛生体制の確立について、教職員の長時間労働は非常に深刻な状況にある。私も含め部活動を持って仕事をそれなりにやれば100時間、120時間を超えるかなりの時間外勤務となっている。問題を解決するためには安全衛生委員会・衛生委員会をすべての職場で設置し、長時間労働を含めた労働環境の改善をすすめる必要がある。勤務時間外状況記録簿が新しくなった。80時間を超えるとオレンジのサイン、100時間を超えると赤いサインが出てくるようになった。これは管理職に出す警告。我々には危ない領域になってきたとお知らせをするもの。管理職が時間管理をするのが本来の姿。安全衛生委員会の設置は50人以上の職場で義務。50人未満も法の精神でいえばつくって労働環境を整えなさい、という趣旨。月1回開催し、校長に労働環境の改善を積極的に申し入れる必要があると思っている。教職員の時間外勤務の実態は数字や実態の上でも「電通」を超えている。事故を避けるためにも労安体制を確立することが大事。

高校再編について、葛巻は来年度1学級減の計画になっている。教育長は県議会で「適切に対処する」と答弁をしている。要因は今年の入学者が50人を超えたこと。なぜ10人以上増えたのか。町の支援（スクールバス、通学支援金、特色ある学校作り）、町、町教委の志願者確保のとりくみ、そして私たちの教育活動に対する一定の評価と思っている。進学や就職など町民の信頼を勝ちとっていくことが必要。地域の方々と力を合せて学校づくりをして存続をめざすのが、葛巻のスタイル。この小さい学校の計画を変更することができれば、他の同じような学校も計画をストップできるのではないかと考えている。地域の教育を守る必要がある。

安倍政権を打倒し、立憲主義を守る必要がある。共謀罪法案をなんとしても止めなければならぬ。労働運動、市民運動も弾圧されかねない。平和と民主主義を守るために頑張っていきたい。

